

論点1 人口減少社会における都市自治体の位置づけと役割

(1) 都市自治体の本質的要素

- ・自治に関する視点（市民自治、コミュニティなど）
- ・行政に関する視点（都市自治体が特に主体性が発揮される分野など）
- ・歴史や成り立ちに基づく都市自治体としての本質（“シビックプライド”を支えるもの）

(2) 「都市自治体」の多様化（人口構造、大都市制度など）

(3) 地方分権改革における位置づけ（総合行政主体としての都市自治体など）

(4) 都市自治体における事務処理の現状と課題（権限移譲と事務返上）

論点2 人口減少社会における都道府県の位置づけと役割

(1) 地方自治法上の機能の再検討

- ・広域的機能
- ・連絡調整機能
- ・補完的機能  など

(2) 市町村に対する「支援」の現状と課題

- ・財政面での支援
- ・人材面での支援
- ・専門的な知見や技術に関する支援  など

(3) 都道府県に求められる機能と役割

論点3 都市自治体と都道府県の多様な関係性

(1) 行政的な関係性

- ・都道府県「市町村課」と都市自治体
- ・都市自治体所管課と都道府県所管課
- ・都道府県の出先機関
- ・職員の人事交流、研修  など

(2) 法的な関係性

- ・市町村条例と都道府県条例、立法権分有論
- ・都道府県による関与、係争処理、国の「従うべき基準」との関係
- ・条例による事務処理特例  など

(3) 政治的な関係性

- ・市長と知事の関係
- ・議会、議員間の関係  など

論点4 市町村による広域連携と都道府県による補完・支援の考え方

(1) 全権限性、補完性の原理、近接性の原理

(2) 民主的統制の可能性

(3) 合意形成・調整コスト